

おおかみこどもの

花の家

山崎さんとのおはなし会

日時

2012年12月22日(土) 10:00から

午前9時半受付開始・午前10時開演・12時まで

※12時から13時まで同会場にて希望者でランチ交流会をおこないます。参加される方は、各自お弁当やパンなどをお持ちください(お茶・菓子は主催者で用意します)。山崎さんも参加のご予定です。

会場

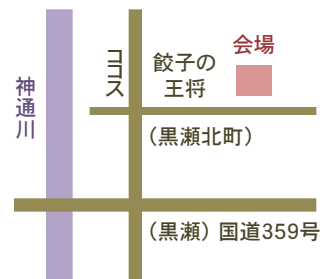
交流施設「リタ・トヤマ」1階

※株式会社ランフットが運営する民営施設
(富山市二口町1-7-14 / TEL 076-422-1145)
<http://www.facebook.com/lita.toyama>

参加料

1人1000円

※会場準備の都合もあり、下記ページなどから事前に参加申し込みいただければ幸いです。
<http://kokucheese.com/event/index/65075/>



会場は歩道脇にあるLiTaClub(リタクラブ)の赤い看板と、隣の建物前に立つトヨタレンタカーの看板が目印です。



「富山プロボノカフェ」2周年のつどいとして 【おおかみこどもの花の家】山崎さんとのおはなし会を開催

開催趣旨

富山県上市町出身の細田守監督が手掛けたアニメーション映画「おおかみこどもの雨と雪」は、この夏一番の話題作といってよく、2012年7月21日の全国公開以来延べ300万人を超える方々が映画館に足を運びました。

同映画では、上市町(かみいちまち)の山あい実在する古民家が舞台モデルになり、夏休みや週末など多いときには全国各地から1日100人を超える来訪者・見学者で賑わっています。

一方で、「おおかみこどもの花の家」こと築100年を超える古民家の維持管理や、地域活性化の取り組みとの運動といった課題も抱えています。

古民家の所有者である山崎正美さんに今までのいきさつや率直なお考えを伺い、交流を図りつつ皆で考えるきっかけになればと思います。

概要

日時：2012年12月22日(土)

9:30 受付開始

10:00-12:00 おはなし会

12:00-13:00 ランチ交流会

会場：「リタ・トヤマ」1階

(富山市二口町1-7-14)

参加料：1人1000円

参加方法：インターネットや

ファクシミリ等による事前の

参加申し込みが望ましい。

プロボノとは？

職能を生かした地域貢献・社会貢献活動のこと。例えばデザイナーがNPO(非営利組織)の公益的取り組みに賛同し、ロゴマークやちらしのデザインを無償等で引き受けるのはプロボノに該当する。

プロボノという言葉はラテン語で「公共善のために」を意味するpro bono publicoに由来し、社会的弱者の法的救済に携わる米国の弁護士が用いたのが始まりとされる。日本においてもプロボノに相当する活動は以前から行われ、とりわけ富山県では四大公害病のひとつ「イタイイタイ病」の支援活動に萌芽を見ることができる。1970年前後の被害者救済訴訟では全国各地から若手弁護士等の支援者が手弁当で参画し、弁護団長を務めた高岡の正力喜之助氏は正力松太郎氏の甥に当たる名士であるが、いわゆる体制側からの切り崩しにも怯むことなく裁判を貫徹した。一連の支援活動が、国の公害対策をも牽引する取り組みとなっていることは特筆に値する。

2008年のリーマンショックや2011年の東日本大震災以降の社会情勢は、情報通信環境の飛躍的な向上とあいまって、プロボノがこれまで以上に多彩な職種の人々が参画する場となっている。士業・経営コンサルタント・実業家・デザイナー・情報技術者・教育や医療福祉の従事者等々。上述の公害裁判から窺えるように、プロボノ活動においては未だ法制度なりが整備されていない時代の先端をゆく社会問題に取り組める、普段の仕事では接点のない人々とチームを組める、といった点が自身の成長をも促すプロボノの大きな魅力と言われる。

「おおかみこどもの花の家」では、ホームページ関連の取り組みやサポーター制度の運営において、県内外の協力者の職能や特技を生かす形(一種のプロボノ)で進められ、地域貢献のあり方としても注目される。

富山プロボノカフェの活動実績

2010年10月に発足し、以降富山市内で毎月例会を開催。当初中心市街地の「まちなかサロン」で例会を行い、カフェ(喫茶店)のように和やかにお茶でも飲みながら、気軽に社会貢献・地域活性化の話をして実践につなげてゆこうという集い。意気投合した仲間で随時プロジェクトが発足している。公式ウェブサイト <http://www.facebook.com/toyama.probono> を運営。

2010年12月には発足記念の意見交換会を開催。あそあそ自然学校(上市町浅生)の谷口新一さんなどをゲストに招き、地元紙で大きく紹介された。(ウェブ版記事 <http://goo.gl/ZbBpa>)

2011年6月には、富山国際会議場にてフォーラム形式の集いを開き、東日本大震災支援団体「とやま311ネット」の久保代表や地域密着の印刷会社「ヤマシナ印刷」の山科専務などを講師に招いた。(フォーラムの短信 <http://goo.gl/StBuK>)

現在、県内教育機関と連携した「自分彩発見プロジェクト」など、有志による地域活性化の取り組みを進めている。

主催者代表 成川友仁

なりかわ・ともひと

中小企業診断士と社会福祉士の国家資格を併有する経営コンサルタント。京都大学大学院修了。富山プロボノカフェ代表世話人。子どもの権利擁護の活動がプロボノ活動のきっかけ。講演実績としては全国ボランティアフェスティバル(東京)・富山市倫理法人会など。富山県等が主催する富山県青年会議会で今年度の経営企画委員長を務めた。ウェブログ「ひるのなりかわ」<http://pronarikawa.blog.fc2.com/>にて地域情報発信中。

お問い合わせ先

成川 友仁(なりかわ) TEL&FAX 076-473-2460 Mobile 080-XXXX-XXXX

930-0313 富山県 中新川郡 上市町 中江上542-3 / E-mail:info@jienology.com